



2026年6月12日

各 位

会 社 名 株式会社モルフォ
代表者名 代表取締役社長 平賀 督基
(コード：3653、グロース市場)
問合せ先 取締役最高財務責任者 曾田 誠
(TEL. 03-6822-2629)

**営業外収益（助成金収入）及び特別損失（構造改革費用、減損損失）の発生並びに
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2026年10月期の連結決算において、営業外収益（助成金収入）及び特別損失（構造改革費用、減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

それに伴い2025年12月12日に公表しました、2026年10月期通期連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）を下記の通り修正いたします。

1. 営業外収益（助成金収入の内容）

地方独立行政法人東京都立産業技術センターの2024年度公募型共同研究において2024年11月28日に採択された、当社のテーマ「効率的な自律式空間撮像システムの研究・開発」の2026年3月6日受領分の助成金を2026年10月期第2四半期会計期間（2026年2月1日～2026年4月31日）において営業外収益として39百万円計上いたしました。

2. 特別損失（構造改革費用、減損損失の内容）

将来の資本効率性の改善を目的とした事業ポートフォリオの見直しを行うため、当社が開発中または過去に開発し自社で保有していたライセンスライブラリ等のソフトウェア資産について、今後の活用見込みを厳格に再評価いたしました。その結果、当社の次世代戦略プロダクトとの親和性が低くなった一部の旧世代ライブラリの資産について除却を実施し、構造改革費用として特別損失に143百万円を計上することといたしました。

さらに、当社が保有するその他の固定資産についても、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として特別損失に40百万円を計上することといたしました。

これら合計183百万円の特別損失の計上により、保有資産の健全化が完了し、2026年10月期第2四半期以降の減価償却負担が軽減されるため、収益性の向上に寄与するものと見込んでおります。

計上区分	主な対象資産	計上額
特別損失 (構造改革費用)	次世代戦略プロダクトとの親和性の低いソフトウェア資産	143百万円
特別損失 (減損損失)	その他固定資産	40百万円
合計		183百万円

2. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年11月1日～2026年10月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,500	100	150	70	13.32
今回修正予想（B）	3,000	▲350	▲230	▲520	▲99.85
増減額（B－A）	▲500	▲450	▲380	▲590	-
増減率（％）	▲14.3%	-	-	-	-
（参考）前期連結実績 （2025年10月期）	3,359	45	71	▲77	▲14.80

3. 修正の理由

連結売上高につきましては、第2四半期進捗は、スマートデバイス領域における半導体市況の高騰によるスマートフォンの出荷台数減少によるロイヤリティ売上の減少、車載領域におけるEV需要のグローバルな減速傾向に伴う顧客企業の開発縮小・中断の影響をうけた開発収入の減少により連結売上高は当初想定と比較し低調に推移いたしました。

連結営業利益、連結経常利益につきましては、当社グループの売上原価は研究開発型企業特有の固定費的要素が高く、売上に対する固定費割合が重く採算が悪化しております。親会社株主に帰属する当期純利益は、上述の構造改革実施に伴う費用を計上した結果、特別損失が増加し、予想を下回り着地する見込みです。

第3四半期以降につきましては、第2四半期迄の外部要因は一部継続するものの、連結売上高につきましては回復基調にあります。これはスマートデバイス領域において第2四半期までの営業活動の成果が具現化し、スマートグラスをはじめとするスマートフォン以外のデバイスへの受注獲得が見込まれること、またDX領域について国内を中心に堅調に営業活動の成果がでてきていることによるものです。上述の状況を受けまして国内グループ会社の通期売上を期初業績予想に対して▲293百万円、中国グループ会社での売上を▲207百万円とそれぞれ見直しました。

連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては第2四半期で実施したソフトウェア資産の健全化の構造改革の結果、減価償却費が減少する見込みであることから収益性の回復に寄与するものと見込んでおります。

【（参考情報）修正業績予想の上下期別推移】

	区分	上期	下期（見通し）	通期合計
連結売上高	金額	1,152	1,848	3,000
	構成比	38.4%	61.6%	100.0%
連結営業利益	金額	▲539	189	▲350
	構成比	-	-	-
連結経常利益	金額	▲464	234	▲230
	構成比	-	-	-
親会社に帰属する当期純利益	金額	▲681	161	▲520
	構成比	-	-	-

以上